

基準価額が5%以上下落したファンドとその背景について(3月11日)

◆3月11日の基準価額下落について

別表に記載の公募ファンドの3月11日の基準価額は、前営業日比5%以上の下落となりました。
基準価額下落の背景となりました市況動向等、および今後の見通しと運用方針につきご報告致します。

◆基準価額下落の背景となった市況動向等

3月11日の基準価額に反映される3月9日の新興国小型株式市場は、大幅安となりました。新型肺炎の感染拡大懸念に加え、原油価格急落を背景に、投資家のリスク回避が加速しました。外国為替市場においても、新興国通貨が同様の理由から対円で下落しました。

3月11日の国内株式市場も同様の理由で下落。投資家のリスク回避姿勢を背景に新興企業の株式や、IPO銘柄などの下げ幅が大きくなりました。

◆今後の見通しおよび運用方針

新型肺炎ウイルス感染拡大に伴う世界経済への先行き不安が高まるなか、主要国による金融緩和強化や財政出動への期待が高まっています。先週3日には、米FRB(連邦準備理事会)が0.5%の緊急利下げを実施。金利先物(OIS)は早期の追加米利下げを織込んでいます。また、市場参加者の一部は明日12日のECB理事会での預金金利引下げを予想するなど、主要国の金融政策に注目が集まります。

目先は主要国景気指標の下振れが続くと見込まれ、市場が過剰反応する場面もあるとみています。今後は、新型肺炎ウイルスの世界的感染拡大の動きに歯止めがかかり、足元の各国の追加的な金融緩和と財政政策を背景に、4-6月期頃から主要国の経済活動が正常化へ向かうとの期待が高まるか否か、に注目が集まります。

今後も市況動向等に十分注意を払い、引き続きコンセプトに沿った運用を継続していく方針です。

■コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。

■また、将来の市場環境の変化または運用成果等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

■表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

<別表>

【基準価額が前営業日比5%以上下落したファンド】

ファンド名	基準価額	前営業日比	騰落率
テンブルトン新興国小型株ファンド	7,470円	-680円	-8.34%
IPOリサーチ・オープン	7,792円	-435円	-5.29%

※騰落率は、収益分配金(課税前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものであり、小数点第3位を四捨五入しています。

※ファンドによっては、投資対象資産や通貨の評価対象日(ファンドへの実質的な反映日)が異なります。

(ご参考)

【株式相場】

	3月9日	3月6日	3月6日比	
			騰落幅	騰落率
MSCI エマージング・マーケット・スモール・キャップ インデックス	862.25	924.16	-61.91	-6.70%

	3月11日	3月10日	3月10日比	
			騰落幅	騰落率
日経平均株価(日経225)	19,416.06	19,867.12	-451.06	-2.27%
東証マザーズ指数	633.99	665.43	-31.44	-4.72%

※小数点第3位四捨五入

※出所: Bloomberg

【為替相場】

	3月9日	3月6日	3月6日比	
			騰落幅	騰落率
円/インドルピー	1.39	1.46	-0.07	-4.79%
円/中国元	14.72	15.32	-0.60	-3.92%
円/台湾ドル	3.40	3.55	-0.15	-4.23%

※為替レートは三菱UFJ銀行の対顧客レート仲値等

※小数点第3位四捨五入

※出所: Bloomberg

MSCI エマージング・マーケット・スモール・キャップ インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国の小型株式で構成されています。同指数に対する著作権およびその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

日経平均株価(日経225)に関する著作権、知的所有権その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。日本経済新聞社は本商品を保証するものではなく、本商品について一切の責任を負いません。

東証マザーズ指数に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

■後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

【投資信託のリスクとお客さまにご負担いただく費用について】
◎投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債およびリート等の値動きのある証券を投資対象としているため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動します。これらの**運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。**したがって、**投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**

投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等をよくご覧ください。

◎投資信託に係る費用について

(ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。)

■購入時(ファンドによっては換金時)に直接ご負担いただく費用

- ・購入時(換金時)手数料 … **上限 3.3%(税込)**

※一部のファンドについては、購入時(換金時)手数料額(上限 38,500円(税込))を定めているものがあります。

■購入時・換金時に直接ご負担いただく費用

- ・信託財産留保額 … ファンドにより変動するものがあるため、事前に金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を表示することができません。

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

- ・運用管理費用(信託報酬) … **上限 年3.41%(税込)**

※一部のファンドについては、運用実績に応じて成功報酬をご負担いただく場合があります。

- ・その他の費用・手数料

上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等でご確認ください。

※その他の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計金額等を記載することはできません。

《ご注意》

上記のリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三菱UFJ国際投信が運用するすべての公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等をご覧ください。

【本資料のご利用にあたっての注意事項等】

■本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

■クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。

■投資信託の取得のお申込みに関しては、クーリングオフ(金融商品取引法第37条の6の規定)の適用はありません。

設定・運用 … 三菱UFJ国際投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会